

<p>研究課題名</p> <p>小児がん既往患者における Ultra-short echo time (UTE) Lung MRI の肺病変描出能の検討 - 胸部 CT との比較 -</p>
<p>研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科放射線診断学 教授 栗井和夫</p>
<p>研究期間 実施許可日 ~ 2025年 3月31日</p>
<p>対象者</p> <p>2017年4月から2024年3月の間に、広島大学病院で肺MRI検査を施行された小児がん既往のある患者さん</p>
<p>意義・目的</p> <p>小児がんを経験された患者さんは、治療効果判定や再発・転移の評価のため、定期的にCTが撮像されていますが、これには放射線被ばくが伴います。放射線被ばくを伴わないMRIは空気を多く含む肺の検査には不向きとされていますが、撮影技術の進歩により最近では肺の撮影も可能となってきています。肺MRIに肺CTと同じくらいの診断能があれば、今後、放射線被ばくを伴うCTの回数を減らすことができると考えられます。</p> <p>本研究の目的は、胸部CTで指摘された病変が肺MRIで描出できているかどうかを評価して、肺MRIの診断能を明らかにすることです。</p>
<p>方法</p> <p>本研究は、これまでに撮像されたCTやMRIの画像を評価して行います。診療録(カルテ)情報から使用する情報は、年齢、性別、診断名、病歴、経過、画像診断報告書です。取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。</p>
<p>共同研究機関 ありません</p>
<p>試料・情報の管理責任者</p> <p>広島大学 医系科学研究科 放射線診断学 教授 栗井 和夫</p>
<p>個人情報の保護について</p> <p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。</p>
<p>問合せ・苦情等の窓口</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>T e l : 082-257-5257</p> <p>広島大学病院 放射線部 講師 谷 千尋</p>